

～「みんなで残したい松江の景観400選集」から景観審議会が特にお薦めする景観～

— No. 303 干し柿の里 —

「東出雲町の畑地区は干し柿の里として知られ、地区の家々には1階が皮むきの作業場、2階や3階が柿の干し場となっている柿小屋があります。最盛期の柿のすだれは、この地区の風物となっています」と推薦いただきました。

標高150～200mの山あいにある畑地区（東出雲町上意東）では、毎年11月ごろ（※注）から「西条柿」を収穫し、昔ながらの自然乾燥で干し柿が作られています。山々を背景にオレンジ色の干し柿が整然とつるされた光景は思わず息をのむほど美しく、桃源郷に迷い込んでしまったような錯覚を覚えます。

もっちりとして甘く、ほっぺたが落ちそうになる干し柿。そのまま食べるのが一番おいしいですが、干し柿を使った料理やおつまみなど、今年は一味違った味わい方も試してみませんか。

（※注：干し柿の収穫・生産時期は、その年の天候に大きく左右されます）

「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。  
【問い合わせ】まちづくり文化財課 景観政策係 ☎55-5387



畑地区は、おちらと村（介護予防拠点施設）から約2km。道路が狭いので、路上駐車はお控えください。

松江の景観400選

検索